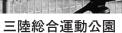
その他の体育施設







動への積極的な参加を促してポーツ・レクリエーション活入れながら、市民の多様なス いきます。 施設の整備・充実に 設のあり方について検討し、 ズなどをもとに、社会体育施口の推移や施設利用者のニー

市内の関係団体はもとより、 7地域経済の活性化を図るため、(4)はよる 11の拡大と、それによる 11のは大と、それによる 11のは大と、が (4)のは大と、スポーツを通じた交 20) ドを中心とした各種スポーツを図りながら、赤崎グラウンな要に応じて近隣市町と連携 組むなど、 るまちづくりを推進 や合宿の誘致に取り

(5) 広報大船渡 30.7.5(No.1130)

年野球のマ 校陸上記録会や市老人クラブ大運動会が開催されるなど、 されるなど週末には多くの方々が訪れています。 内の中心的スポ 三陸町綾里の高台に構える三陸総合運動公園は、 -ナルドト ツ施設として、 方々が訪れています。また、小学ナメント岩手県大会の会場に利用として、社会人野球の大会や、少る三陸総合運動公園は、震災以降

平成28年度には、希望郷いわて国体グラ天然芝グラウンドとして整備されました。 市民ボランティアによる芝生苗 盛川 ィアによる芝生苗の植付けが行敷公園は日本サッカー協会から わて国体グラウ なわれ、

技種目や年代

代を問わず

幅広く利用されています。

震災後、

く、各種スポーツ大会の会場としても大きな役割を果たしてが開催されるなど、市民の日常的な憩いの場としてだけでな平成28年度には、希望郷いわて国体グラウンドゴルフ競技

います。

今後のスポ 浜に向けて)スポーツ

伸び悩んでいます。 まで回復しましたが、 約3万人で、 利用者数は、 施設の復旧が進むにつれ、 ましたが、その後、震災前の約7割 平成26年度には

競

の縮小、県大会場の進行やスポージ 催数の減少などが考えられま 今後、 その理由として、 県大会規模の大会開やスポーツ少年団活動 市では、 将来的な 人口減少

被災直後の市民体育館(外観)





命化のみならず、利用者の利便性、快適性の向上も図りましぎるを得ない状態となりました。平成25年度から復旧工事に 電気設備、機械設備の改修などを行い、翌26年度に待望の供 用再開を果たしました。平成28年度には耐震改修をはじめ、 空調設備改修や天井板の更新、照明のLED化を行い、昭和 空調設備、機械設備の改修などを行い、翌26年度に待望の供 に、平成25年度から復旧工事に がある。平成25年度から復旧工事に がある。平成25年度から復旧工事に を受け、平成24年度までの約2年間にわたり、利用を休止せ であった雨漏りの改善に取り組んでいきます。ヰコーキング、雨どいや屋上部防水の補修を行い、 老朽化の激しい南側外壁の修繕とサ 将来を見据えて設備などのさらなる しました。 のちに解体されるなど大きな被害 また、 隣接する市民プ また、 また、市内ス 長年の課題 ッシ周辺の 復旧工事を終えた市民体育館

ポーツ施設の核として、 充実を目指します。

本年度は、

被災直後の市民体育館(内部)

は復旧の目途が立たず、

レキが周囲を埋め尽く 東日本大震災津波により

1階部分が浸水

土砂や流木、

市民体育館



層力を